



「始業式、よおーし、やるぞー」!!

1学期がスタートしました。2学期も1学期同様、私たち職員一同は、子どもたちの健やかな成長に努めますので、保護者の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。子どもたちには、始業式に次のような話をしました。

～始業式での話～

静かだった学校に、335名の元気な皆さんが、もどってきました。皆さんが元気に戻ってきてくれて、本当に嬉しいです。

今年の夏休みは、とても暑い夏休みでしたね。ブラジルでオリンピックも開催され、毎日頑張っている日本の選手に感動した人もたくさんいると思います。9月7日からは、パラリンピックが開催されます。選手の皆さんをしっかりと応援していきたいですね。

2学期は、何をするにもいい季節です。勉強の秋、運動の秋、読書の秋、食欲の秋を迎えます。秋は、実りの季節です。自然の中では、米、くり、かき、ぶどうなど、いろんな実がなります。

でも、実りの秋は自然だけでなく、みなさん一人一人にもやってきます。漢字をたくさん覚えたなら、頭に「漢字」という実がなります。友だちの気持ちがわかるようになったら、心に「思いやり」という実がなります。持久走を頑張ったら、体に「スタミナ」という実がなります。

さあ、みなさんは、この2学期で頭と心と体にどんな実をならせますか? 「こんな実をならせたい!」という自分のめあてを決めて、2学期の終わりには「いい実りの秋になったなあ。」と思えるように頑張っていきましょう。

あと1つ、中牟田小のみんなで実らせたいことがあります。それは、2学期は「友だちの心が温かくなる言葉遣い」をすることです。友だちの心に傷を付けたり、友だちをイヤな気持ちにさせたりする“チクチク言葉”は学校から追い出し、言われた友だちの心がほんのりあったかくなる“ぽかぽか言葉”があふれる学校をめざしていきたいと考えています。

「オリンピックから学んだもの」!!



今回のオリンピックでは、夜遅くまで、また早朝より日本選手の活躍に声援を送られたことと思います。私は、二つのことを学びました。

一つ目は、過去最多となる41個のメダルを獲得した日本選手の活躍です。個々の選手の皆さんの努力は並大抵のことではないと思いました。「継続は力なり」以上の努力があったことと思います。特に、男子400mリレーでは、仲間を信じ合う大切さと可能性を信じることの素晴らしさに心を打たれました。皆で力を合わせると1+1+1+1は、4以上になるんですね。

二つ目は、陸上女子5000メートルのできごとです。ニュージーランドのハンブリン選手が転倒。その後ろに続いていたアメリカのダゴスティノ選手も共に倒れました。先に立ち上がったダゴスティノ選手は、そのまま走り続けずに、ライバルであるハンブリン選手に「起きて、起きて、ゴールしなくちゃ。オリンピックなんだから。私たちはゴールしなくちゃいけない。」と励ました。国を代表し、多くの期待を背負って勝負するオリンピックなのに、自分の順位よりも転んで足を痛めている相手のことを最後まで気にかける姿に感動しました。

